

いめんやす

同窓会訪問記・山城第二回

学生服、国民服、セーラー服等々、様々な服装に足元は革靴、ズック、下駄など。当時の一組から六組、先生方の卒業記念写真が展示されています。

昭和二十三年十月、学区編入で男女共学となり、昭和二十四年旧制の京三中から新制の山城高校となりました。昭和二十五年の卒業まで、一年半から半年という短い山城高校時代の同窓生です。男性五十五名、女性三十八名、計九十三名の出席で華やかな雰囲気につつまれた会が始まりました。荒本氏の開会挨拶では、参加者全体の状況が紹介されました。

また、前回の平成十五年以降に逝去された八名に黙祷で冥福を祈られました。

つづいて森氏（百年記念事業実行委員長）から百年記念事業の報告と参加呼び掛けがされ、山田氏の音頭で乾杯、会食、歓談となりました。

懐かしい記念写真の前に集まり、まずは自分を探し出し、友人を探し、話題が広がります。京三中、第一商業、府一、府二、堀川、嵯峨野などと学区編入で一緒にいられた皆さんの一年半から半年という期間ではありますが、その分、友情とまとまりが凝縮されたような和気藹々とした楽しい雰囲気が溢れていました。

国枝氏は平成十六年になってやっと発行、授与された「在学証書」を披露されました。

東京会の活動をまとめに、校歌合唱で閉会となりました。